

令和6年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	スタート部門
※プルダウンから選んでください	

【1】事前相談について

(1) 市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談

コーディネーター名	中田
事前相談日時	2024/5/7,8日
申請可能と言わされた日時	2024/5/8 13:00開始

※複数回相談した場合、全てご記入ください

(2) 協働を希望する課への事前相談 ※学生・高校生部門は不要です

協働希望課名	危機管理課
事前相談日時	2024/5/8 14:00～、別日の場合別途相談。
申請可能と言わされた日時	2024/5/8 14:00開始

※複数回相談した場合、全てご記入ください

【2】応募要件について

該当する部門の応募要件の□内に、○を記載してください。（プルダウンになっています）

該当の部門	要件内容	
全部門共通	5名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	<input type="radio"/>
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としていない。	<input type="radio"/>
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	<input type="radio"/>
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	<input type="radio"/>
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1年以上の活動実績を持っている。	<input type="radio"/>
スタート、一般、団体連携	翌年3月31日までに事業を完了できる。	<input type="radio"/>
学生・高校生部門	翌年2月28日までに事業を完了できる。	<input type="radio"/>
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	<input type="radio"/>
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から3年以内の団体である。	<input type="radio"/>
一般部門、団体連携部門	昨年度採用されていない事業である。	<input type="radio"/>
一般部門、団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去2回以上採択された団体ではない。	<input type="radio"/>

【3】申請者について

団体の名称	この指とまれ！
団体名称のフリガナ	コノユビトマレ
代表者	河岸 仁子
役職名	代表
氏名（フリガナ）	カワギシ サトコ
団体の所在地	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
構成員	計 7 名
(内訳)	(1) 市内関係者 4 名 (2) その他 3 名 (勤務が金沢の者含む)
設立年月日	2023 年 6 月 21 日 (設立 1 年目)
設立の目的	2023年5月5日に起きた能登地震を経て、誰かに頼る防災ではいけない。 自らが能動的に自助努力をするための学びが必要と感じた。 少しでも、多くの人に自分や家族を守るためにも必要な知識、智恵を享受頂くため設立
活動概要と団体のPR	<p><活動概要></p> <p>各種教育コンテンツを用いたセミナー事業の展開。</p> <p><団体のPR></p> <p>大切なものを守るためにやらないといけないのは知識をつけること。</p> <p>ただその方法が少ない。志のもと防災士の資格はとったが、活用・活躍の場がない。</p> <p>我々は自治体の啓蒙も限界があるため、その担い手となる団体として活動を始める。</p> <p>看護師2名、防災士5名、元自衛官2名、ゲームファシリテーター2名、等</p> <p>それぞれの持っている特性を活かして複数人で様々なコンテンツを提供できるよう</p> <p>段取りし効率よく情報の展開を進める団体</p>
HP,SNSのURL	現在作成中。
担当者連絡先	石崎 琢磨（いしざき たくま）
役職名	事務長
氏名（フリガナ）	イシザキ タクマ
住所	
電話番号	
FAX番号	
メールアドレス	
携帯電話番号	

※団体連携部門の場合、当該「【3】申請者」は連携先団体の分も必要であるため、シートをコピーし、シート名を「団体連携先」として記載願います。その場合、記載が必要な部分は「【3】申請者」部分のみです。

【4】企画内容について

提案事業・テーマ	(5) 都市づくり
企画のタイトル	この指とまれ！市民セミナー 夏、秋、冬の陣
事業効果	※特に事業の対象者が具体的にどうなるかを以下に記入してください。
現状の地域課題	金沢市未来共創計画にもあるように、災害時に地域で支え合える体制が整っていると感じる市民の割合が3割以下。富樺森本断層の心配もある中、課題が山積。 災害に強い、公助、共助、自助に意識の高い地域へと変容していく必要を感じる。 ※公助：人員不足、共助：防災士が機能できていない、自助：災害時、避難袋非携帯
事業の実施により期待される効果	公助: マンパワー不足⇒サポートできる人数を民間（当団体や地域防災士）で確保 共助: 防災士が機能不全⇒防災士から地域市民に勉強会の案内・実施を通じ関係構築 自助: 自身の家族構成などを踏まえた避難袋の最適化と重要性の認識向上を。 災害時に有用な知識を防災士・市民が身につけることで、災害時の迅速な対応を構築
その他	<提供コンテンツ> ゲームや家庭の間取りなどを用いた防災意識の向上、災害後のお腹を満たす方法、生き残りを意識した行動を判断する知識の提供などを実施。
事業の概要	
具体的な実施内容 ※「誰が」「何を」「いつ」「どのくらい」「どこで」「どのように」実施するのかを具体的に記入してください。	この指とまれのコンテンツを広く一般にアナウンス。 誰が : この指とまれ メンバー 何を : この指とまれ が広く市民に勉強会開催 どのくらい : 最低3か月1回開催 この指とまれ市民セミナー 夏、秋、冬 どこで(予定) : 富樺教育プラザ1回、クルーズターミナル1回、金沢勤労者プラザ1回 どのように : 30人席を借りてコンテンツ紹介をかねたイベントを開催。 <内容: ワーク（ゲーム）を含めた体験を通して防災意識の向上を計る> ・主婦+防災士、災害救護経験看護師の目線でおウチのリスクマネジメントを講義、 被災した際に、どうやって家族のお腹を満たし精神を落ち着けるかなど解説。 ・元自衛官、即応自衛官から生き残るためのHow toを解説 ・災害シミュレーションゲームを通じ、気付きと”自助”についての意識向上。

企画内容にかかる注意事項

※単発的なイベントで終わるものではなく、通年の活動や今後に繋がる継続性を考慮した事業を提案してください。

※実施方法（予定日時・予定場所・実施形態・予定講師・参加見込数）など出来るだけ具体的に記載ください。

別途資料を添付する場合は、A4サイズでお願いします。

※既存の事業で応募する場合、工夫や改善した点を明確にしてください。

【5】事業収支予算書

委託費 100,000 円

収入の部

(単位：円)

科目	金額	内訳など
委託料	100,000	金沢市より
セミナー参加費	45,000	500円×90名
計【A】	145,000	

支出の部

(単位：円)

科目	金額	内訳など
材料費	8,000	セミナー用 食材・ガスボンベ購入費5000円、 応急救護箱 見本品 作成費 3000円
印刷製本費	30,000	チラシ印刷費 10円×1000枚 × 3回
委託料	60,000	チラシデザイン作成費 30,000円 ホームページ作成費30,000円
消耗品費	3,080	事務用品購入費、資料作成、印刷費
交通費	22,920	市外構成員の交通費。電車料金片道分。 加賀 880円、鶴来760円、津幡270円 × 12回
使用料及び賃借料	21,000	会場費用7000円× 3回
計【B】	145000	

【A】収入合計と【B】支出合計は一致（同額）させてください。